

黒河 昭雄

1 著書

- 1) 黒河昭雄 (2024) 「第 4 章 科学技術政策における官民関係の変容－医療を事例として」『政策研究: 社会課題対応のための科学技術政策システムの再構築』東京財団政策研究所, 38-56, 2024 年 4 月.

2 学術論文

- 1) Akio Kurokawa. 2023. "Regulatory Lag and Governance for Emerging Science and Technology: A Case Study of the Introduction of Regulations for Artificial Intelligence Medical Devices in Japan" The 2023 Annual Conference of the Asian Association for Public Administration (AAPA), Conference Paper.
- 2) Matsumura, Kumi, Kanami Tsuno, Masumi Okamoto, Akiko Takahashi, Akio Kurokawa, Yuko Watanabe, and Honami Yoshida. 2023. "The Association between the Severity of Dysmenorrhea and Psychological Distress of Women Working in Central Tokyo—A Preliminary Study" International Journal of Environmental Research and Public Health 20, no. 21: 7021. <https://doi.org/10.3390/ijerph20217021>
- 3) Okamoto, Masumi, Kumi Matsumura, Akiko Takahashi, Akio Kurokawa, Yuko Watanabe, Hiroto Narimatsu, and Honami Yoshida. 2024. "The Association between Menstrual Symptoms and Presenteeism: A Cross-Sectional Study for Women Working in Central Tokyo" International Journal of Environmental Research and Public Health 21, no. 3: 313. <https://doi.org/10.3390/ijerph21030313>
- 4) 黒河昭雄 (2023) 「レギュラトリーリスクと制度的な公正性－がん免疫治療薬「オプジーボ」をめぐる緊急薬価改定を事例に『レビュー』」東京財団政策研究所, 2023 年 6 月
- 5) 矢澤瑞季, 草深鉄兵, 古宮將太, 星名美佳, 黒河昭雄 「働く女性のヘルスリテラシー向上に向けた具体的支援政策の検討」神奈川県立保健福祉大学誌, 21 巻第 1 号, 123 – 137, 2024 年 3 月.
- 6) 草野哲史, 黒河昭雄 「神奈川県における保健医療データの活用の阻害要因に関する考察」神奈川県立保健福祉大学誌, 21 巻第 1 号, 111 – 121, 2024 年 3 月.

3 その他の著作

- 1) Akio Kurokawa, Nobuhiko Hibara, Hiroshi Okanao, and Satoru Wada. 2023. "Effects of Effectuation Education Effects for Large Corporation Employees" 8th Effectuation Conference, Gdansk, Poland, November 13th – 14th, 2023, Extended Abstract.
- 2) 黒河昭雄 「価格決定に関する制度的な公正性に関する研究」研究・イノベーション学会第 38 回年次学術大会, 年次学術大会講演要旨集, 2023 年 10 月.
- 3) 樋原伸彦, 黒河昭雄, 岡野洋路, 和田聡 「事業会社におけるエフェクチュエーション・ロジックの開発」研究・イノベーション学会第 38 回年次学術大会, 年次学術大会講演要旨集, 2023 年 10 月.

4 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)社会技術研究開発センター(RISTEX) 研究推進委員
- 2) 公益財団法人東京財団政策研究所 主任研究員
- 3) 政策研究大学院大学 客員研究員
- 4) 一般社団法人次世代基盤政策研究所 上席研究員

5 社会貢献

- 1) SHI 授業科目およびフィールド実習の一環として神奈川県に対する政策提言のとりまとめと発表 (2024年3月)
- 2) 横浜市における全国がん登録データを用いたデータ分析の実施 (イノベーション政策研究センター受託事業) (2023年1月~2023年12月)
- 3) 株式会社三菱地所および株式会社ファムメディコとの業務提携に基づく働く女性の健康に関する産学連携プロジェクトの推進 (イノベーション政策研究センター実施事業) (2023年1月~2024年3月)
- 4) 神奈川県・市町村・保健所担当者向け研修会の実施 (イノベーション政策研究センター受託事業) (2023年11月)
- 5) 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)社会技術研究開発センター(RISTEX)「科学技術イノベーション政策のための科学 研究開発プログラム」におけるプログラム運営・評価およびプロジェクトのマネジメント等 (2023年1月~2024年3月)
- 6) 文部科学省産業連携・地域振興課との連携 (マッチングファンド型ファンディングプログラムの有効性の検討) の推進 (2023年1月~3月, 2023年10月~2024年3月)

6 講演, 放送

- 1) 成城大学社会イノベーション学部「政策学」(前期) 非常勤講師
- 2) 成城大学社会イノベーション学部「行政学」(後期) 非常勤講師
- 3) 早稲田大学ビジネススクール「ライフサイエンスの破壊的イノベーション」(秋クォーター) 非常勤講師
- 4) 東京大学公共政策大学院「医療イノベーション政策」(S1S2 セメスター) ゲストスピーカー
- 5) 東京大学公共政策大学院 (および大学院経済学研究科)「Economic Analysis of Pandemics」(S1S2 セメスター) ゲストスピーカー
- 6) 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST) 社会技術研究開発センター (RISTEX) 「科学技術イノベーション政策のための科学」 研究開発プログラム主催「第14回プログラムサロン: 感染症対策と経済活動に関する統合的分析」2023年12月19日, 司会・進行
- 7) 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST) 社会技術研究開発センター (RISTEX) 「科学技術イノベーション政策のための科学」 研究開発プログラム主催「第4回政策のための科学研究会」2023年12月12日, 司会・進行
- 8) 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST) 社会技術研究開発センター (RISTEX) 「科学技術イノベーション政策のための科学」 研究開発プログラム主催「第3回政策のための科学研究会」2023年10月24日, 司会・進行
- 9) 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST) 社会技術研究開発センター (RISTEX) 「科

学技術イノベーション政策のための科学」 研究開発プログラム主催「第2回共進化セミナー「産学連携プロセスの成功要因の類型化と可視化を目指す」2023年7月24日、趣旨説明

7 学会等での活動

- 1) パネリスト：東京財団政策研究所主催国際ワークショップ「日本・欧州における科学技術イノベーション政策の新展開」2024年3月18日
- 2) モデレータ：科学技術振興機構社会技術研究開発センター「科学技術イノベーション政策のための科学 研究開発プログラム オープンセミナー『感染症対策と経済活動に関する統合的分析』2024年3月5日
- 3) 発表：Akio Kurokawa, 2023. "Regulatory Lag and Governance for Emerging Science and Technology: A Case Study of the Introduction of Regulations for Artificial Intelligence Medical Devices in Japan" The 2023 Annual Conference of the Asian Association for Public Administration (AAPA), 2023.12.17.
- 4) 発表：Akio Kurokawa, Nobuhiko Hibara, Hiroshi Okanao, and Satoru Wada. 2023. "Effects of Effectuation Education for Large Corporation Employees" 8th Effectuation Conference, Gdansk, Poland, November 13th – 14th, 2023.
- 5) 発表：黒河昭雄（2023）「社会技術と政策形成—『問題解決のための科学』と『政策のための科学』」科学技術社会論学会第22回年次研究大会，大阪大学，2023年12月10日
- 6) ポスター発表：岡本真澄，吉田穂波，黒河昭雄，渡辺祐子「東京都心部で働く女性の月経随伴症状と仕事パフォーマンスに関する横断研究」第82回日本公衆衛生学会総会，筑波国際会議場，2023年10月31日。
- 7) 発表：黒河昭雄「価格決定に関する制度的な公正性に関する研究」研究・イノベーション学会第38回年次学術大会，オンライン開催，2023年10月29日。
- 8) 発表：樋原伸彦，黒河昭雄，岡野洋路，和田聡「事業会社におけるエフェクチュエーション・ロジックの開発」研究・イノベーション学会第38回年次学術大会，オンライン開催，2023年10月29日。
- 9) 座長：研究・イノベーション学会第38回年次学術大会，座長（一般講演：技術経営（戦略・R&D マネジメント）⑦）オンライン開催，2023年10月29日。
- 10) パネリスト：東京財団政策研究所主催国際ワークショップ「トランスフォーマティブな科学技術イノベーション政策の運用と今後の課題—日本と海外の経験から」2023年9月20日
- 11) 討論者：白川展之氏ご報告「イノベーションと技術ガバナンス—デジタル化をめぐるガバナンス論の諸相—」に対して，2023年6月4日，日本公共政策学会研究大会（第27回）（自由公募セッション4），於コラッセふくしま

8 学内教育活動

- 1) ヘルスイノベーション概論（ヘルスイノベーション研究科修士1年後期，科目責任者）
- 2) レギュラトリーサイエンス概論（ヘルスイノベーション研究科修士1年前期，科目担当者）
- 3) 健康・医療政策（ヘルスイノベーション研究科修士1年前期，科目担当者）

- 4) 政策分析・政策立案演習（ヘルスイノベーション研究科修士 1 年後期，科目責任者）
- 5) 社会健康学・社会疫学（ヘルスイノベーション研究科修士 1 年後期，科目担当者）
- 6) フィールド実習 I A「ベンチャー投資における意思決定演習」（ヘルスイノベーション研究科修士通年，科目責任者）
- 7) フィールド実習 I A「イノベーション・エコシステム演習」（ヘルスイノベーション研究科修士 通年，科目責任者）カリフォルニア大学サンディエゴ校との連携
- 8) フィールド実習 II B「女性の健康プロジェクト」（ヘルスイノベーション研究科修士 1 年後期，科目担当者）
- 9) ヘルスイノベーション研究科修士課程学生 指導補助教員（1 名）
- 10) ヘルスイノベーション研究科修士課程課題研究 副査（1 名）
- 11) 国際連携の推進（カリフォルニア大学サンディエゴ校）覚書更新およびフィールド実習
- 12) レギュラトリーサイエンス公開講座（2/6， 2/21， 3/7， 全 3 回）
- 13) 政策立案・政策提案演習最終報告会（学生による政策提案発表）（3/23）
- 14) まるのうち保健室産学医ワーキンググループワークショップ（1/30， 8/23， 12/7， 12/11）
ファシリテーター
- 15) 川崎市立川崎高校附属中学校におけるアントレプレナーシップワークショップ（10/20）
ファシリテーター
- 16) キングスカイフロント夏の科学イベント（8/2）ファシリテーター

9 学内各種委員会活動

- 1) 全学図書委員会委員
- 2) ヘルスイノベーション研究科 教務学生委員会委員
- 3) ヘルスイノベーション研究科 研究倫理審査委員会委員
- 4) ヘルスイノベーション研究科 研究委員会委員
- 5) イノベーション政策研究センター プロジェクトリーダー（横浜市がん対策プロジェクト）
- 6) イノベーション政策研究センター プロジェクト担当（女性の健康プロジェクト）
- 7) イノベーション政策研究センター プロジェクト担当（保健医療データ活用支援業務プロジェクト）

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 「非制度的な科学的助言の動態に関する研究—専門家による非公式な政策形成過程への関与」日本学術振興会，基盤研究(C). 研究期間:2022 年 4 月-2025 年 3 月. 代表者: 黒河昭雄
- 2) 「貧困研究の実装フィージビリティの理論的・実証的研究」日本学術振興会，学術変革領域研究(A). 研究期間:2022 年 6 月-2027 年 3 月. 代表者: 末富芳
- 3) 「研究支援の基盤構築（研究設備・人材等）のための調査・分析」文部科学省科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」推進事業(SciREX 事業) 共進化実現プログラム（第Ⅲフェーズ）研究期間:2023 年度~2025 年度. 代表者: 隅蔵康一